

1. 単元名 「トラストサッカー」(ボール運動領域)

2. 研究主題

課題の解決に向けて“運動の楽しさ”をそうぞうする子どもの育成
～できる・わかるを積み重ねる授業～

(1) 単元について

高学年のボール運動は、ルールや作戦の工夫、集団対集団の攻防によって仲間と力を合わせて競い合ったりする楽しさや喜びを味わうことが楽しい運動である。

指導にあたり、まず、はじめ～なか1の時間には、サッカーにつながる動きを学ぶため、プレイ空間を限定したゲームをする。プレイ空間は白線でマスを書いて区切り、1マスに1人、入ることにして役割をはっきりさせる。ボールを止めることや蹴ることに馴染み、マークを外すことやスペースにパスをすることなどを身に付ける。なか2の段階では、サッカーを簡易化したゲーム、トラストサッカーをする。トラストサッカーは、ハーフラインの少し前にもう一本ラインを引き、そのラインはドリブルでは越えられず、パスでしか前へ進められないというルールを加えたサッカーを基にしたゲームである。相手の陣地まで運んできたボールをパスしなければ、それ以上前へ進むことができず、ゴールにつながりにくい設定としている。おわりには、学んできたことを生かして、自分たちでゲーム大会を運営し、仲間と力を合わせて競い合う楽しさを味わえるようにする。

子どもたちが制限のあるゲームから技能を獲得していき、技能の向上とともに物足りなさを感じていく。そして、自分たちで、自由に動けるルールを設定していくことを想定している。その中で子どもたちと一緒に、5年2組のトラストサッカーをつくっていきたい。

(2) 単元の目標

資質・能力		そうぞうの実践力が発揮される姿
主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組み、ルールを守って助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や安全に気を配ったりすること。	・チームでの作戦会議を経て、チームにとってよりよい練習を考え、実行している姿。
思考力・判断力・表現力	ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	・自分自身や友だち、教師との対話を通し、できなかったことをできるようにするために活動し続ける姿。
知識・技能	ボール操作と、ボールを持たない時の動きによってゲームをすること。	

3. 活動構成の仮説

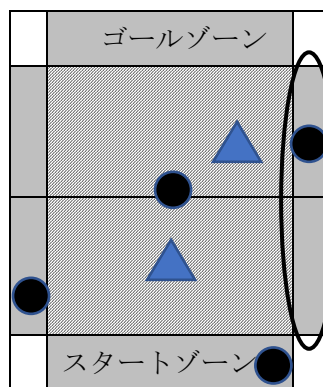
①単元を通して、学習中や体育ワークでの自己評価や指導者・友だち同士との対話の蓄積を可視化し、還元していくことで、思考したことを練習内容や作戦・ゲームでの動きにいかすことができる。

体育ワークでの記述をまとめて課題設定や達成状況の把握にいかす。さらに、学習中の対話の蓄積を可視化(UDトーク)する。子どもたちに還元することで、話し合い自体も改善されていき、短い時間で焦点を絞って作戦やゲームでの共通理解を図ることができるようになることで、チームとしての動きがよりよくなると考える。

②攻撃や守備のプレイ空間を限定するゲームをすることで、サッカーにつながる技能の向上がより見られる。

プレイ空間を限定することで、プレイの選択肢が減り、迷うことが少なくなる。その結果、自分の技能的な課題がはっきりしたり、得点できなかった原因を探りやすくなったりする。課題が見えることで練習内容も焦点化されたものになり、初めからどこでも動けるゲームをした時よりも、技能の向上が期待されると考える。

【はじめのゲーム】



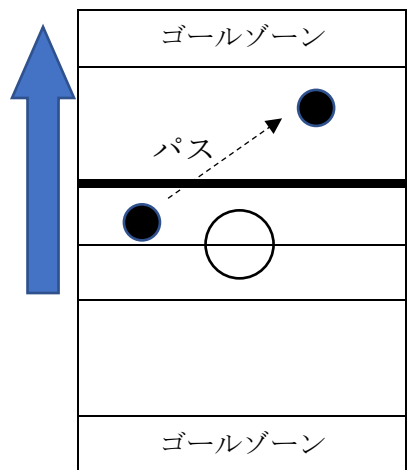
サイドゾーン

はじめのゲームのルール

- ・ スタートゾーンからボールをパスで運び、ゴールゾーンを通りぬければ得点。
- ・ 攻めと守りの人が入れるマスは決まっています、攻めはスタートゾーン1人、サイドゾーン2人とセンターライン上に1人ずつ入る。1マスに入れる人は1人。
- ・ 自分のマスの中、センターライン上は自由に動いてよい。
- ・ ボールが外に出たり、守りに止められたりした場合は、スタートゾーンから始める。

… 攻撃側が入る範囲
 … 守備側が入る範囲
 … 攻撃
 … 守備

【トラストサッカー】



トラストサッカーのルール

- ・ 上↑に攻めている場合、太線を越えるには、パスをしなければならない。
- ・ ゴールゾーンを通り過ぎれば得点。
- ・ ゴールキーパー（手を使える人）はなし。ゴールゾーン前に立つのはあり。
- ・ オフサイドはなし。
- ・ 他のルールはサッカーと同じ。

5. 指導計画（全10時間／本時第7時）

時数	問題解決の流れ	子どもの意識	教師の役割	評価				
				主体的に学習に取り組む態度	思考力、判断力、表現力	知識及び技能	そうぞう的实践力	
はじめ (1)	教材と出会う 1. はじめのゲームを知る。 2. はじめのゲームを試みる。 3. 気づきや見つけたコツやポイントを交流する。	サッカーか…。あまり活躍できないな。得意な子に任せよう。 いつものサッカーとちがうな…。マスの中なら取れないから落ち着いて考えられるな パスしたいところはあるけど、守備に気づかれて防がれてしまうな。早く狙ったところに蹴りたいな。 友だちに動いてもらわないとゴールできないな。	やったー！サッカーだ！思い切りがんばろう！ 動ける範囲が決まっていて自由に動けないな。思い通りにならないな。普通のサッカーをしたいな。	<ul style="list-style-type: none"> ○ はじめのゲームの説明をする。 ○ 交流する場面をつくる。 ○ 教師からも補足してよいプレーを称賛する。 	主体的に学習に取り組む態度 運動に積極的に取り組む事ができる。 ルールを守って助け合って運動することができる。	思考力、判断力、表現力 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	知識及び技能	そうぞう的实践力
なか① (2～5)	動きに馴染む 4. はじめのゲームでの気づきから課題を見付ける。 5. 課題に合った練習を計画する。 練習をしてゲームに臨む。	ここにボールがある時はここにパスするといんだな。いつもそこにいてくれるのは安心 ゲームのイメージはできてきたよ。早く練習したいな。 場所ごとの役割がはっきりしてきたな。	ボールを持っていない時は、守備が間に入らないように動いてほしいな。 相手のマークを外す練習してみようか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育ワークでの気づきを拾い共通の課題を設定する。 ○ 練習の種類を提示する。 ○ 課題に対して練習がふさわしいかを見る。 	仲間の考えや取組を認めることができる。	自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりすることができる。	ボール操作とボールを持たない時の動きを身に付けることができる。	イメージ・クリエイトを往還させ、自分や友だちの技能を向上させようとしている姿。
なか② (6～8)	教材をよりよくなる 6. マスをなくして自由に動けるようにゲームを工夫する。 7. 新しいゲームをする。 8. 新たな課題を見付ける。	ゲームに慣れてきたな。もっと広く動けると作戦も増えて楽しいのにな…。 攻撃がしやすくなると思ったけど、やっぱり相手が前に来ると思ったようにプレイできないな。 なかなかフリーで前を向けられないな。	マークは外してくれるけど、ボールをもらってからの動きができていないな。 ボールをもらった時に余裕があるようにスペースにパスをしよう。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材をよりよくなるきっかけをつくる。 ○ 新しくなった教材に戸惑いのある児童をフォローする。 	仲間の考えや取組を認めることができる。	ルールを工夫することができる。	ボール操作とボールを持たない時の動きを身に付けることができる。	チームやゲームがよりよくなるように、友だちと考えたことを交流し、認め合うことができる姿。
おわり (9～10)	まとめの大会をする 9. まとめ大会の企画をする。 10. まとめ大会をする。	守備も上手になってきているからやりがいがあるな。 息が合うと楽しいな。パスが失敗しても同じ気持ちだったことが分かるな。 初めはできないと思っていたけど、できてくると楽しかったな。	チームの仲間が上手になっていくのがよく分かってうれしかったな。	<ul style="list-style-type: none"> ○ まとめ大会を提案する。 ○ 子どもたちの案を取り入れながら企画をつくる。 ○ 楽しい思い出となるよう支援する。 	勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたりすることができる。			

6. 本時について（全10時間／本時第7時）

（1）①本時の目標 ②本時で目指す実践力を発揮している姿

①スペースにパスを出したり、スペースに動いたりしてゲームをすることができる。【知識及び技能】

②課題解決のために、考えたことを交流し、認め合う姿。【そうぞうの実践力】

（2）本時の展開

活動内容	子どもの意識の連続性	評価（○）と支援（◆）
<p>1. 本時のめあて、流れの確認 （本時のめあて）</p> <p>フリーでボールをもらうための方法を考えよう。</p>	<p>新しいゲームになって難しかったな。どうしたら上手くできるんだろう。</p>	<p>◆体育ワークの記述を紹介してみんなが感じている課題を共有する。</p>
	<p>守備も自由に動けるようになったからな…。動ける範囲が増えて考えることも多くなったな。</p>	<p>◆どのようにすればその課題が解決できるか考え、めあてにする。</p>
<p>2. 全体練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面パス ・とりかご 	<p>そう！フリーでボールをもらいたいんだよなー。</p>	<p>◆正確なパス、強いパス、速いパスを意識させる。</p> <p>◆フリーでボールを受ける意識を持たせる。</p>
	<p>ドリブルで相手をたくさん集めよう！それからパスだ！</p>	<p>◆チームの課題に合った練習をしているか、確認する。</p> <p>◆特に課題のあるチームを見付けておき、重点的に支援する。</p>
<p>3. チーム練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームの課題に合った練習をする（マークを外してスペースでもらう練習など） 	<p>マークを外してフリーでもらおう！</p>	<p>◆チームの課題に合った練習をしているか、確認する。</p> <p>◆特に課題のあるチームを見付けておき、重点的に支援する。</p>
	<p>パスをもらったらずぐに相手が寄ってきてしまうな…。</p>	<p>◆スペースへのパスや動き出しが見られたときは成功しているかどうかに関わらず称賛する。</p> <p>○スペースにパスを出したり、スペースに動いたりしてゲームをすることができる。【知識及び技能】</p> <p>○新しいゲームでの課題に友だちと向き合い、解決のために考えたことを交流している。【そうぞうの実践力】</p>
<p>4. トラストサッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前後半3分ずつ×3周り 	<p>もらう前に次のことをイメージしておこう！</p>	<p>◆ふりかえる内容を焦点化する。</p> <p>○新しいゲームでの課題に友だちと向き合い、解決のために考えたことを交流している。【そうぞうの実践力】</p>
	<p>困ったらとにかく前にければいいよ！</p>	<p>◆使った体の部位をしっかりとほぐすようにする。</p>
<p>5. ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームで見つけたフリーでボールをもらう方法を全体で交流する。 	<p>作戦を考えてきたよ。</p>	<p>◆使った体の部位をしっかりとほぐすようにする。</p>
	<p>相手のこんなところが上手だったよ。真似してやってみよう！</p>	<p>◆使った体の部位をしっかりとほぐすようにする。</p>
<p>6. 整理運動</p>	<p>スペースにパスするとみんなが走りこんでくれるようになってきたな。</p>	<p>◆使った体の部位をしっかりとほぐすようにする。</p>
	<p>息が合ってくると、失敗しても同じ気持ちだったことが分かるな。</p>	<p>◆使った体の部位をしっかりとほぐすようにする。</p>
	<p>一回目より楽しい！自由に動けるのはやっぱり気持ちいいな。</p>	<p>◆使った体の部位をしっかりとほぐすようにする。</p>
	<p>スペースを広く使えるようになってきたから、次は自分でドリブルをしてみようかな。</p>	<p>◆使った体の部位をしっかりとほぐすようにする。</p>
	<p>次はポジションを変えてやってみようかな。</p>	<p>◆使った体の部位をしっかりとほぐすようにする。</p>
	<p>楽しかったな。また次の体育が楽しみだな。次の時間までに新しい作戦を考えておこう！</p>	